

基本姿勢

- 1, 市民一人ひとりが福岡市に住んで良かったという気持ちを実現する福岡のまちづくり
- 2, 市民との『夢』の共有、『夢』実現のための市民との協働
- 3, 市民に対して、また市役所内部でも、すべての「情報の公開」と「議論の積み重ね」を重視していく

『夢』の実現へ

(1) 「文化発信都市ふくおか」

福岡市は、古代より大陸文化渡来の玄関口として栄えてきたのだが、残念ながら市民の間にその記憶はあまりとどめられていない。まず福岡市民に福岡市が「歴史文化都市」としてどんなにすばらしいかをもっと認識していただき、福岡に住んでいることの誇りを持っていただくために、センター・公民館での文化講座などの開催、学校を通じた教育、鴻廬館・吉武高木遺跡・元寇防塁などの史跡整備を積極的に行う。このことは同時に文化を担う市民を育て「文化発信都市」「観光都市」の構築にもつながる。

(2) 「環境推進都市ふくおか」

全国の政令指定都市のなかで、福岡市ほど都市化しているにもかかわらず、自然環境に恵まれている都市はまれである。ラブアース・クリーンアップ運動や、花いっぱい運動などを自主的に始め、家庭ごみの有料化をいち早く取り入れるなど、環境行動における福岡市民の先進性をおおいに讃え、より美しい街への自主的な取り組みをさらに広げていただく。一方、福岡市は、この「緑、みず、空気」をより保全増進するために、都市交通体系の整備や電線地中化の推進、博多湾の浄化などに努める。

(3) 「地域福祉先進都市ふくおか」

福岡市では、「一校区一公民館一老人いこいの家」という施設とともに、校区ごとに社会福祉協議会、老人クラブを持ち、全国に比類のないきめ細やかな高齢者施策が実施されてきた。しかしながら介護保険の導入、高齢者専用施設の増加などにより、専門的なケアの部分は手厚くなったが、心を本当に充たす人間的な関わりの部分である「地域福祉の大切さ」が忘れられつつある。超高齢社会の到来を前に、地域の再生を図り、人と人をつないで真に豊かな福祉をめざす。

(4) 「教育革新都市ふくおか」

福岡市の子どもは元気が取り得、その感性の豊かさは多くの起業家、芸術家やさまざまな芸能家を生み出している。しかし残念ながら学力実態調査においては、上位に位置するまでには至っていないようである。子どもたちのやる気を引き出し、学力においても感性においても全国一の都市にしたい。そのためには教育費を増額し、子ども一人ひとりの個性に応じた指導を徹底するための、さまざまな制度の改革を恐れずに実施する。さらに次世代にすばらしい文化をつなぐために、すべての市民が、いつでもどこでも学べるように、生涯教育をより充実する。